

令和5年度 第2回綾瀬西運営協議会

1. 日時

令和5年12月12日（火）13：30～15：00

2. 場所

綾瀬西高等学校 会議室

3. 出席者

潮田 三明 （綾瀬西高等学校元 PTA 会長）
大城 美恵 （綾瀬市立城山中学校長）
大部 さつき （綾瀬市手をつなぐ育成会会長）
林 沙樹 （綾瀬西デイサービスセンター長）
倉下 学 （社会福祉法人「道志会」事務長）
佐藤 豊 （桐蔭横浜大学スポーツ科学部スポーツ教育学科教授）
与安 透 （綾瀬西高等学校長）
黒川 裕樹 （綾瀬西高等学校副校長）
落合 護 （綾瀬西高等学校教頭）
片桐 亮 （総務・広報グループリーダー）
瀬賀 陽平 （総務・広報グループ）

4. 次第

- (1) 開会
- (2) 校長挨拶
- (3) 2学期の学校行事について（報告）
- (4) 今後の学校行事について（予定）
- (5) 今年度の取組に係る中間評価（令和5年度学校評価報告書中間評価）について
- (6) スクール・ポリシーについて
- (7) 令和6年度～令和9年度「学校教育計画」について
- (8) グランドデザインについて
- (9) 第2回学校評価部会
- (10) 意見交換
- (11) その他
- (12) 閉会

5. 確認事項

- ・本校の学校行事や地域との協働活動の実施状況を報告した。
- ・今年度の学校目標について評価を受けた。また、令和6年度から令和9年度のスクール・ポリシーや学校教育目標の策定にあたり、ご助言をいただいた。

6. 報告事項

- ・学校行事についてはコロナウイルスの5類への引き下げに伴い、コロナウイルスへの対応以前の形での実施を行っている。
- ・令和6年度から令和9年度のスクール・ポリシーや学校教育目標については、今までの綾瀬西高等学校の取組を踏襲しつつ、改めて学校として生徒にどうなってほしいのかを踏まえて、今回いただいたご助言をもとに今の時代に合わせた形での策定を進めていく。
- ・デイサービスセンターとの交流や地域との協働について、学校だけでなく地域と協力しながら生徒の成長する機会を設けていきたい。

7. 意見交換

- ・Chromebookの活用としてビデオ通話によるインタビューなどが考えられるのではないかと。授業での使用だけでなく、学校全体として生徒の成長する機会を広げる形でICTの活用を捉えてもよいのではないかと。
- ・交通安全教育や防災教育など自分の身を守るための教育を受ける環境が整っていると感じている。
- ・高校生との交流は地域の人々にとっても良い刺激となっている。